

5 月例会「ペコロスの母に会いに行く」

定例総会の報告

明石シネマクラブ例会鑑賞について

会員入会促進のための試みとして、加古川シネマクラブと明石シネマクラブの会員が、相互の例会に参加できるようになりました。期間は、とりあえず1年間ですが、双方の会員増加に有効であれば、その後も継続すると思います。

明石シネマクラブは、1968年設立の明石映画サークル協議会の活動が停止したため、その一部の活動を引き継いで2010年に新たに設立された団体です。旧明石映画サークル協議会のメンバーをはじめ、加古川や姫路のシネマクラブ、その他、新たな会員が、姫路や加古川のシネマクラブの手法を参考に運営しています。

主な活動場所は、JR明石駅の東に建つ**アスピア明石9階の子午線ホール**です。

加古川と明石のシネマクラブは、規模がほぼ同じで、会員減などの課題もよく似ています。自分の所属している会だけでなく、他の会の活動を知ることは、会を運営する上で刺激になります。また、折角の例会なのに、会場は空席が目立っており、ひとりでも多くの人に作品を鑑賞してほしい思いが強くなります。さらに、何より加古川か明石のシネマクラブに入会すると年間最大12回の映画鑑賞機会があると言えば、入会者が増えるのではないかと。これらの理由から、例会相互鑑賞の試行をすることになりました。

参加方法は、明石の会場受付で、①加古川の会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする、とします。

不正を防ぐために、受付簿は、後日、それぞれの運営委員に確認してもらいます。

明石シネマクラブの例会情報は、このニュースの最後に載せています。

例会のお知らせ

■名称/第72回例会『ペコロスの母に会いに行く』

■日時/5月23日(金) ①PM 2:00-、②PM 4:20-、
③PM 6:40-

■場所/加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

■受付/入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の

会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

【例会作品データ】

■タイトル/ペコロスの母に会いに行く

■監督/森崎東

■原作/岡野雄一

■出演/岩松了、赤木春恵、原田貴和子、加瀬亮、
竹中直人、大和田健介、松本若菜、原田知世、
宇崎竜童、温水洋一

■データ/2013年、日本、113分、ドラマ/コメディ

■解説/原作は、長崎在住の漫画家・岡野雄一のエッセイ漫画『ペコロスの母に会いに行く』。

深刻な社会問題として語られがちな介護や認知症。

でも、主人公のゆういちはこちら言います。

“ボケるとも、悪か事ばかりじゃなかかもしれん”。

そんな自身の体験をもとに描かれた認知症の母との何気ない日常が、多くの共感と感動を呼び、現在16万部を超えるベストセラーに。

そして、ここにまったく新しい介護喜劇映画が誕生しました！2008年5月に公開され大ヒットとなった『アフタースクール』。オリジナルのエンターテインメント作品を作り出す監督としてファンも多い、内田けんじの3年ぶりとなる最新作！(ホームページ解説から)

映画誌『キネマ旬報』2013年の日本映画の第1位の作品、その目で確かめてください。



2014 年度定例総会の要旨

4月23日(水)午後7時15分から約45分、出席者6人と委任状11人と寂しい中、**2014年度の加古川シネマクラブ定例総会**を開催し、1年間を総括し、次の1年の計画を確認しました。承認された報告と議決の内容は、総会議案のとおりです。このニュースと同封した議案は、当日配付議案に一部の年表記と作品名などの誤字や誤記、そして、運営委員の退会などがありましたので、修正議決後のものです。

総会は、いつもの運営委員のメンバーでしたので、特に問題もなく議事どおり終了しました。

要旨については、まず、2013年度の活動報告と決算報告について、報告どおりの内容でした。収支について、特別例会成功のお陰で例年と比べ約10万円の余裕があるはずが、単年度で6万円の赤字でした。会員数の減少が大きな問題です。

役員の選任については、運営委員が1名減です。

2014年度の活動計画と予算については、収入を期待できる上映会作品が見当たらないことから、地道に良い作品の例会を行いながら、新入会を呼びかけようと言うことに尽きました。

会の運営を安定して行うためには、会員を最低でも180人、できれば200人以上にならなければ難しいことには変わりありません。今後も引き続き、ロコミやチラシの配布や会員の勧誘、特別例会への参加呼びかけ、補助金事業探し、その他、地域の映画関係事業への協力など、会員の皆さんご協力お願いいたします。

全国映連総会・全国映連賞贈呈式参加報告

行ってきました「スタジオジブリ」。

もう何年も恒例で行っています。4月11日はスタジオジブリ。今夏公開の『思い出のマーニー』を制作中で、**米林宏昌**監督の顔も見えました。静かに進行中でした。続いて**宮崎駿**監督のアトリエへ。宮崎さんがいたのでお邪魔してしばし歓談。美術館展示用の絵が描けない、とか南相馬まで行って来たこととか、相変わらず自分のペースでおしゃべりしてくれました。

12日午前には**松井久子**監督と会って、『レオニー』のその後と、現在制作中のドキュメンタリーのこととかを聞きました。午後から全国映連総会で岩波シネサロンへ。相変わらず各地で悪戦苦闘している状況を聞きましたが、皆さん元気なのが何より。**鎌仲ひとみ**監督が来賓挨拶で元気な顔を見せてくれ、『小さき声のカノン』もいよいよ今秋完成のようです。

贈呈式では、**田中裕子**さんと**リリー・フランキー**さん、**高畑勲**監督、**三上智恵**監督が本人出席でした。田中さんは着物姿で笑みを絶やさず、いつものことながら、女優さんというのはスクリーンより実物の方が綺麗でした。リリーさんはスクリーンよりスリムでした。高

畑さんは相変わらずはにかみながら、スタッフあってこそこの作品と語り、三上さんは沖縄への熱い思いを語りました。高畑、三上の両監督は二次会にも付き合ってくれて、交流を深めてきました。(健)



全国映連賞贈呈式記念撮影



スタジオジブリでの1コマ

前回例会の報告

3月18日の例会では、**内田けんじ**監督で、**塚雅人**、**香川照之**、**広末涼子**が主演のコメディ映画『**鍵泥棒のメソッド**』を鑑賞しました。

全体には、オモシロかったという意見が多かったのですが、部分的にわかりにくいところがあったという意見もありました。このキャストでは、観る前から期待が大きかった。直前にテレビ放映があったのは予想外でした。参加会員104人でした。

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200~300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

明石シネマクラブ例会情報

- 名称／『アンコール!!』(2012年、イギリス、94分)
- 日時／6月18日(水) ①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-
- 場所／アスパア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)
- 受付／会場受付で、①加古川の会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする
- 明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数160人(3月18日現在)